

専門性を発揮できる 特定行為研修修了者の活躍支援



静岡県藤枝市立総合病院 達家 好美

藤枝市立総合病院の概要

- ・許可病床数 564床
(ICU8 NICU6 救急救命病棟20含む)
- ・病床利用率 75.4% ・在院日数 12.8日



当院内規により、特定行為研修
修了者を特定看護師と称する

<主な指定>

地域医療支援病院
臨床研修指定病院
卒後臨床研修評価機構指定病院
地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター
災害拠点病院
静岡DMAT指定病院

<2022年4月現在>

職員数 1293人

医師 144人 診療科 35科

看護職 621人

専門看護師 2分野 3人

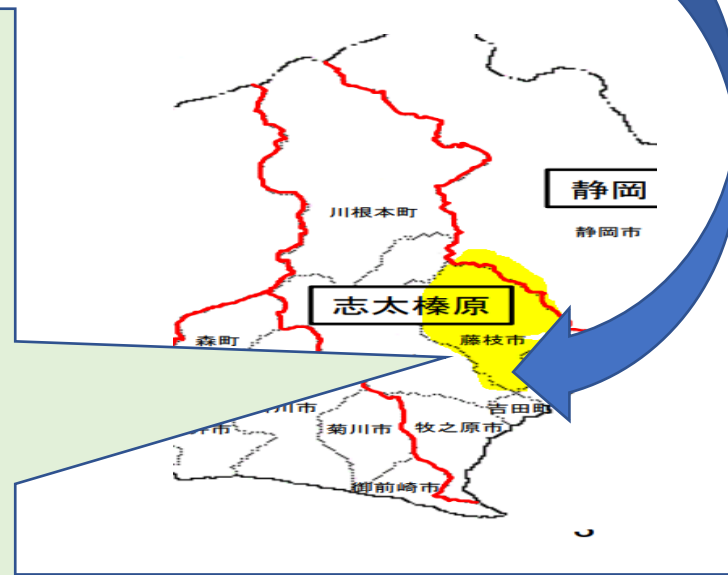
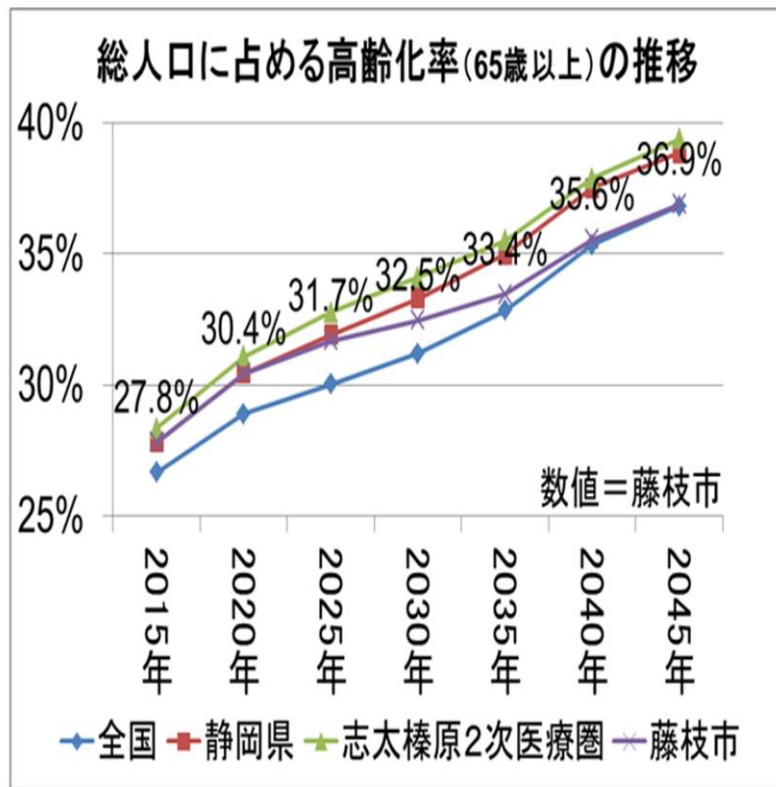
認定看護師 10分野 23人

特定看護師 6人

(2022年10月現在 特定看護師 8人)

看護職 平均年齢 35.7歳 離職率 5.1%

当院を取り巻く環境（藤枝市）



出典：国立社会保障・人口問題研究所
将来の地域別男女5歳階級別人口（平成30年）



藤枝市 人口 142000人
65才以上高齢化率29.6%（2022年）

求められている役割

救急 術中 術後管理
看護の質向上

- 1 幅広い急性期医療を担う病院
- 2 地域を支える基幹病院
- 3 健全な経営基盤の下持続的な医療を提供する病院



～厳しき科学と温かき心～

質が高く、安心・安全な医療を提供し、
恒常的な健全経営を目指す



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

当院の特定行為研修受講の背景

- 藤枝市の特徴(2017年当時)
- 人口 146000人 高齢化率 28.9%

在宅や介護施設などから
脱水や肺炎を繰り返し救急搬送事例が多い
褥瘡の管理に難渋している



地域を含めて看護力の向上が必要

日本看護協会が開催する認定看護師のための特定行為研修の受講により
地域において活躍できる人材を育成できる

地域医療支援病院
が地域で活躍する
人材を育成



特定看護師育成 組織体制整備

2019年

- ・診療部全体へ「当院の特定行為について」説明
- ・特定看護師からアピール

2017年～2018年「特定行為」について指導医に個別説明

2018年

特定行為推進プロジェクトチーム

2019年

特定行為推進委員会

2020年

看護部内に特定行為推進担当者を配置

2021年

教育研修センター特定行為推進室

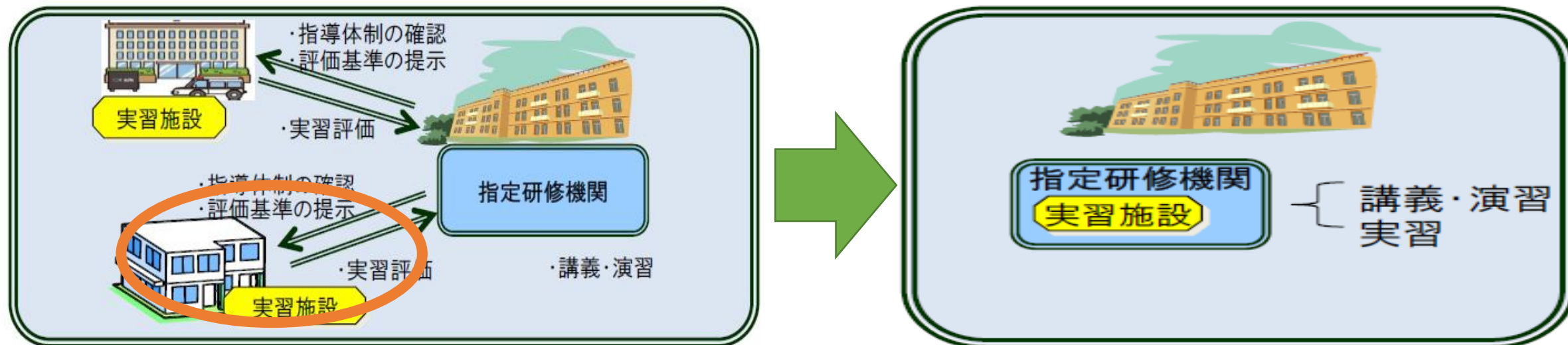
働き方改革推進法



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

実習協力施設から指定研修機関へ

特定看護師を
配置して準備



術後を安心して
任せる看護師を
増やしたい



麻酔医師が不足



救急患者対応を
充実させたい



2021年 特定行為研修 秋コース開講

5区分の特定行為

- ・呼吸器(気道確保)関連
- ・呼吸器(人工呼吸療法)関連
- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・動脈血液ガス分析関連
- ・循環動態に係る薬剤投与関連

藤枝市立総合病院

藤枝市立総合病院がこのほど、志太様原地域で初めて国の看護師特定行為研修施設に指定された。修了した看護師は、一部の医療行為を医師の手順書に従って手掛けることが可能になり、業務の幅が広がる。同病院で17日に第1期生の開講式があり、同病院の看護師2人が出席した。

同病院では5区分14行為を対象にした研修を行う。人工呼吸器の操作や動脈採血などの診療補助を看護師が担えるようになり、急性期や慢性期在宅医療の現場での活躍が期待される。志太様原地域の看護師が研修を受けやすい環境づくりにもつなげる。

第1期生は集中治療室（ICU）担当の石川智也さん（34）と救急外来の沢田安希子さん（44）。来年3月までの半年間で計350時間の講義や実習に臨む。

開講式で石川さんは「知識や思考力、判断力を身に付けられるよう精いっぱい頑張りたい」、沢田さんは「人工呼吸器の扱い方などを覚え、病院の業務に貢献したい」と抱負を語った。中村利夫院長は「看護師の視点から市民の健康増進につなげてもらえたら」と呼び掛けた。

（藤枝支局・岩下勝哉）

入講許可証を受け取る石川さん（中央）と沢田さん（右）＝藤枝市立総合病院

人工呼吸器操作や動脈採血

求められている役割

～厳しき科学と温かき心～

質が高く、安心・安全な医療を提供し、
恒常的な健全経営を目指す



1 幅広い急性期医療を担う病院

2 地域を支える基幹病院

3 健全な経営基盤の下持続的な医療を提供する病院

救急 術中 術後管理
看護の質向上



**ジェネラリストの特定看護師、
リーダーナースを特定看護師に！！**

当院での育成

2021年秋
救急外来 1人
集中治療室1人 (認定)

2022年春
救急病棟 1人
救急外来 1人

2022年秋
手術室 1人
感染管理 1人 (認定)

特定看護師の活動

(2017年度～2019年度修了者)

	育成年度	認定領域	特定行為	配属場所	活動
A	2017年	手術看護	基本モデル 2020年 区分追加	地域包括ケア推進 → 特定行為 推進担当	手術室麻酔補助 輸液管理 訪問看護同行 輸液投与
B	2018年	感染管理	感染管理モデル	感染管理室	CVカテーテル抜去 PICCカテーテル挿入
C	2018年	皮膚排泄 ケア	皮膚創傷ケア モデル	皮膚排泄ケア担当	退院後患者の褥瘡管理 褥瘡チーム内での処置 一部実施
D	2019年	集中ケア	集中ケアモデル	集中治療室	挿管チューブの位置調整 人工呼吸器離脱に向けた呼吸器設 定の調整 など



特定看護師の活動

(2021年度以降の修了者)

	育成年度	認定領域	特定行為	配属場所	活動
E	2021年秋	なし	呼吸器関連(気道確保)	救急外来	救急患者対応 フィジカルアセスメント 血液ガス
F	2021年秋	集中ケア	呼吸器関連(人工呼吸療法) 動脈血ガス分析	集中治療室	挿管チューブの位置調整 人工呼吸器離脱に向けた呼吸器設定の調整など
G	2022年春	なし	栄養及び水分	救急病棟	救急重症患者管理
H	2022年春	なし	循環動態に係る薬剤投与	救急外来	救急外来受診患者管理



当院の研修修了者が実施できる特定行為

特定行為区分及び特定行為(21区分 38行為)

特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理
	一時的ペースメーカーリードの抜去
	経皮的心肺補助装置の操作及び管理
	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助頻度の調整
心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更
	胸腔ドレーンの抜去
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入

特定行為区分	特定行為
創傷管理関連	褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保
透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与
	抗精神病薬の臨時的投与
	抗不安薬の臨時的投与
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整

11区分 21行為 研修修了

特定行為研修受講者の支援

1. 研修受講は以下の割合で勤務扱いとする

1) 共通科目

eラーニング 取得単位時間の80%

試験・演習は100%

2) 区分科目

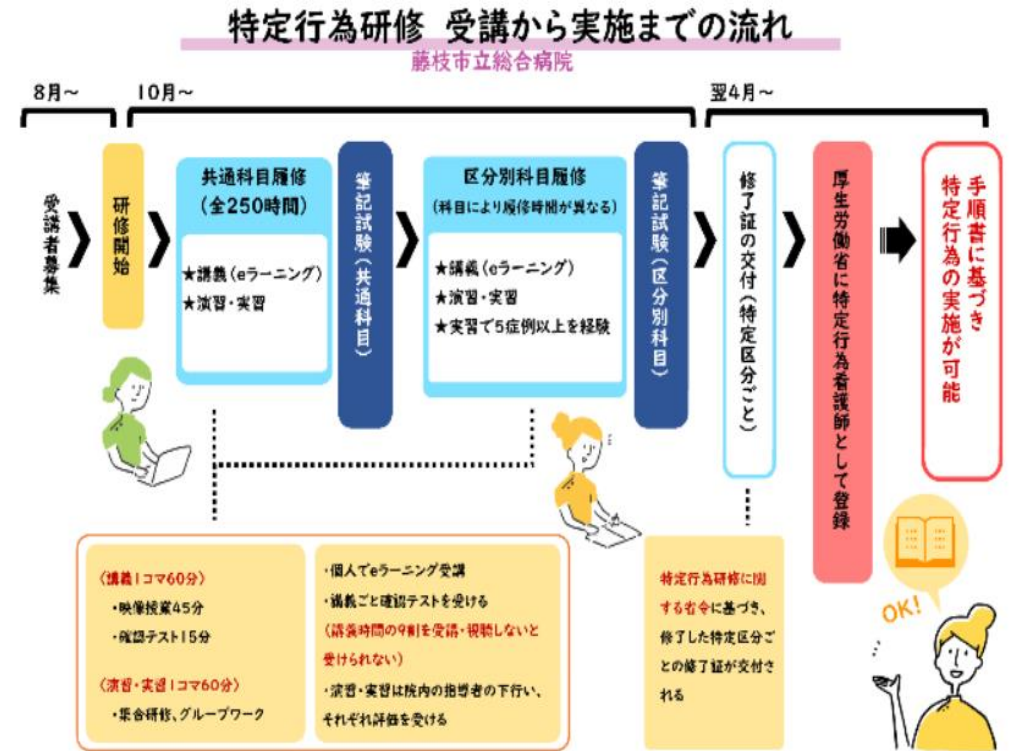
eラーニング 取得単位時間100%

試験・演習・OSCEは100%

3) 実習 全期間を勤務100%

2. 費用について

病院職員の資格・免許取得等支援要項に則り、受講料の支援あり



特定看護師の活躍支援



・・・の状態なので、
〇〇してはどうでしょうか？

確かに・・・
では〇〇しよう



- ・特定行為が実践できる部署への配置
- ・活動の可視化
 - 活動理解を深める
 - 活躍の範囲を拡大させる
- ・活動時間の確保（認定特定） 2日／月 程度
- ・特定看護師であることを明示できる
ユニフォームの検討

勉強になります

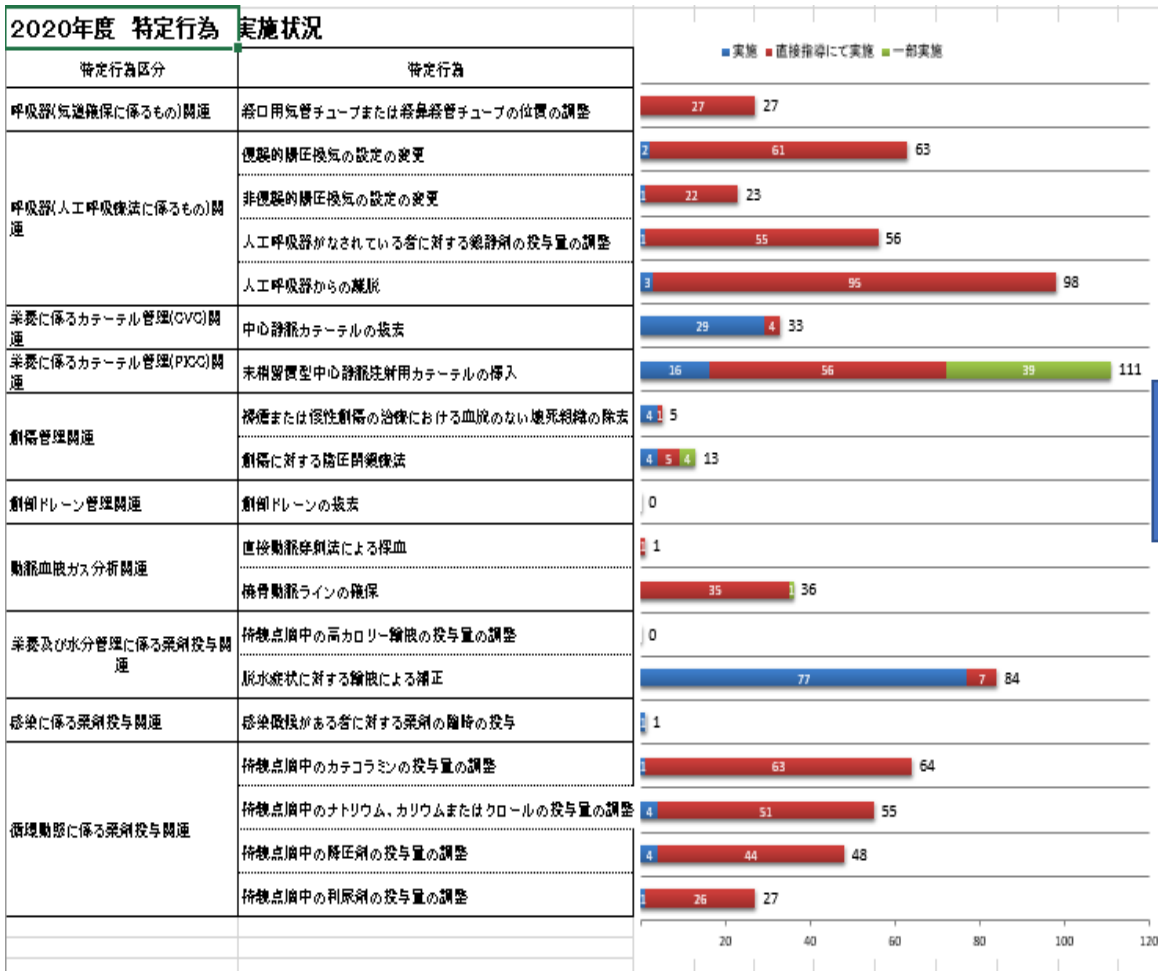


特定看護師の実績

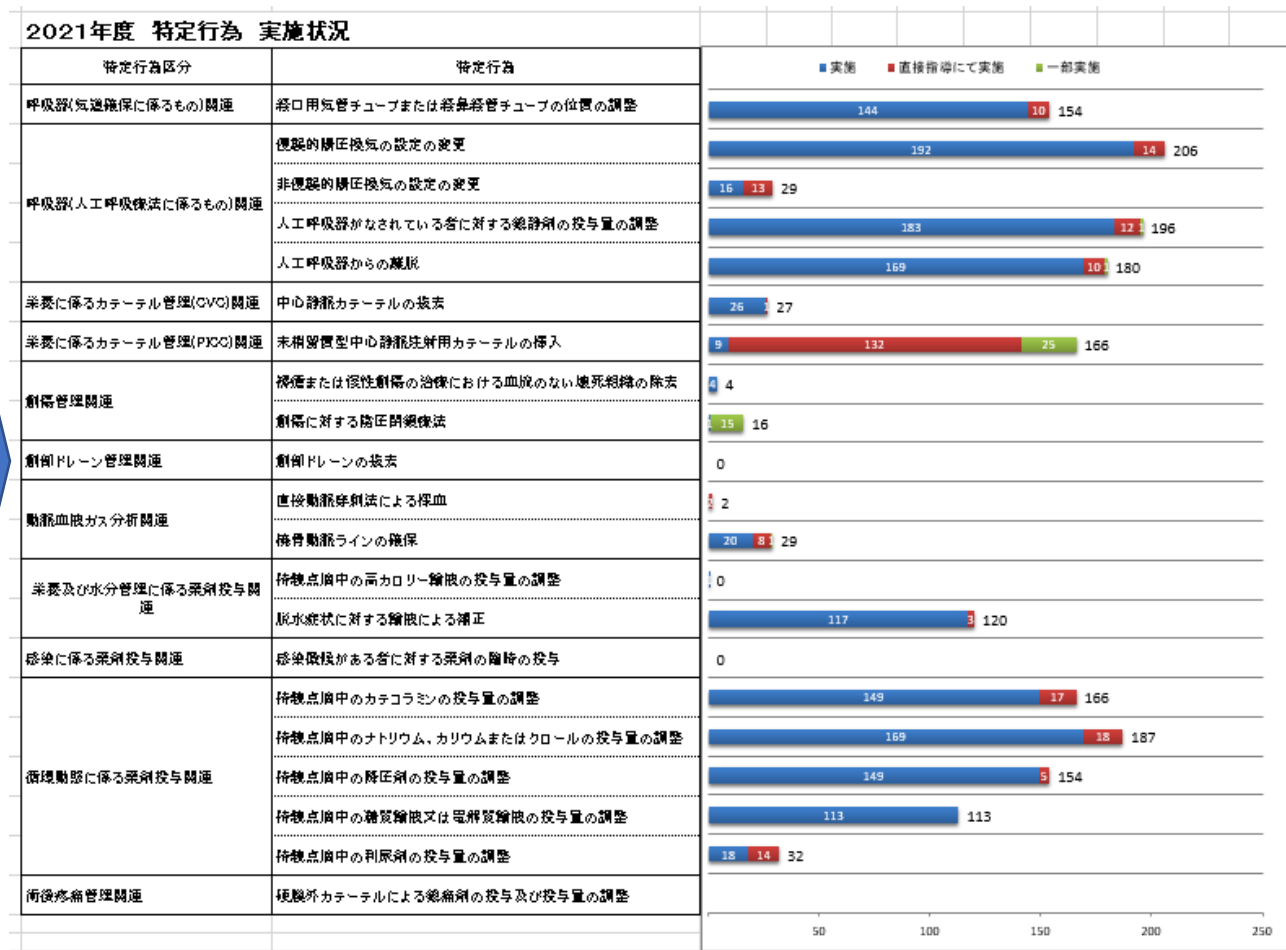
2020年度

(青)実施(赤)直接指導下実施(緑)一部実施

2021年度



745件の実施



1781件の実施

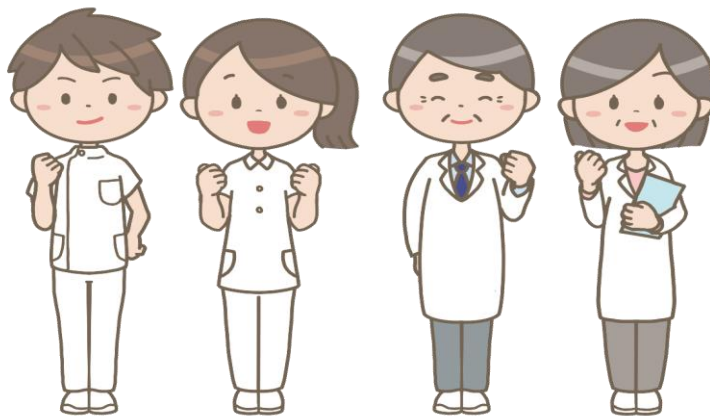
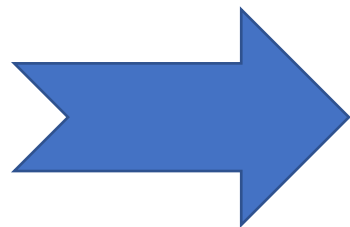
今後の活躍にむけて

特定看護師は、それぞれの
領域や、チームにおいて指導
医とペアで活動

一般病棟は業務
がいっぱい～



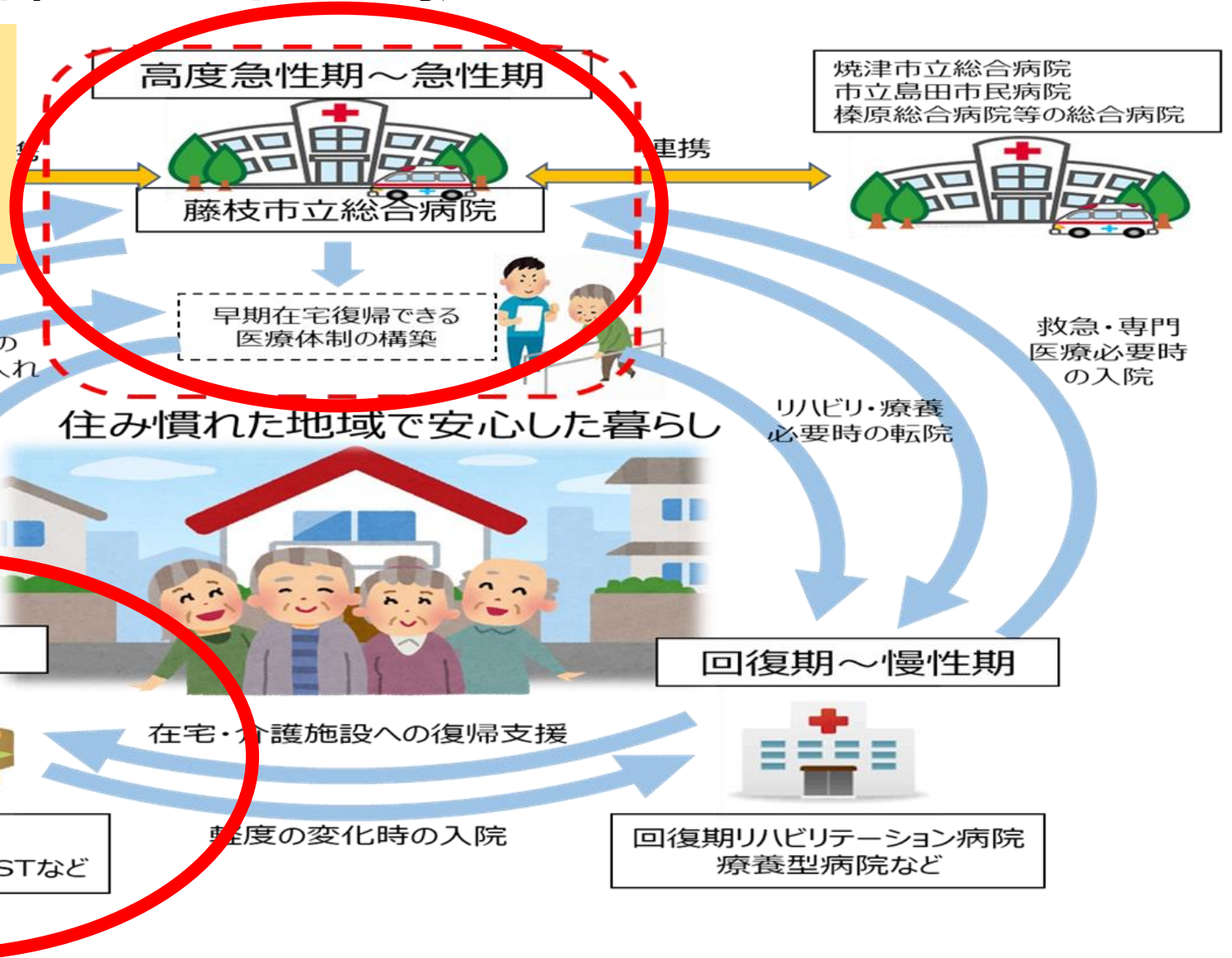
急変ハイリスク
患者ラウンド



特定看護師の高いアセスメント力を
活かした特定看護師チームによる
組織横断的活動

現状と今後の課題（活用拡大）

活動は院内
特定行為は医師
の指示が必要



救急・専門
医療の必要時
の入院

軽快時
の退院

在宅等からの
緊急時の受け入れ
レスパイト

早期在宅復帰できる
医療体制の構築

住み慣れた地域で安心した暮らし

リハビリ・療養
必要時の転院

救急・専門
医療必要時
の入院

在宅医療

回復期～慢性期

在宅・介護施設への復帰支援

軽度の変化時の入院

回復期リハビリテーション病院
療養型病院など

診療所、
訪問診療・訪問看護STなど

志太医師会
藤枝市 等

地域活動

医師会へ
働きかけ

看護師の特定行為の効果

看護の質向上

タスクシフト・シェア

患者サービス向上

- アセスメント能力の向上
- 異常の早期発見
- 医師への適正な報告
- 安全な患者管理

- 医師の代行で行為実施
- 行為に係る一連の流れを少人数で実施可能
- 時間外医行為の縮減

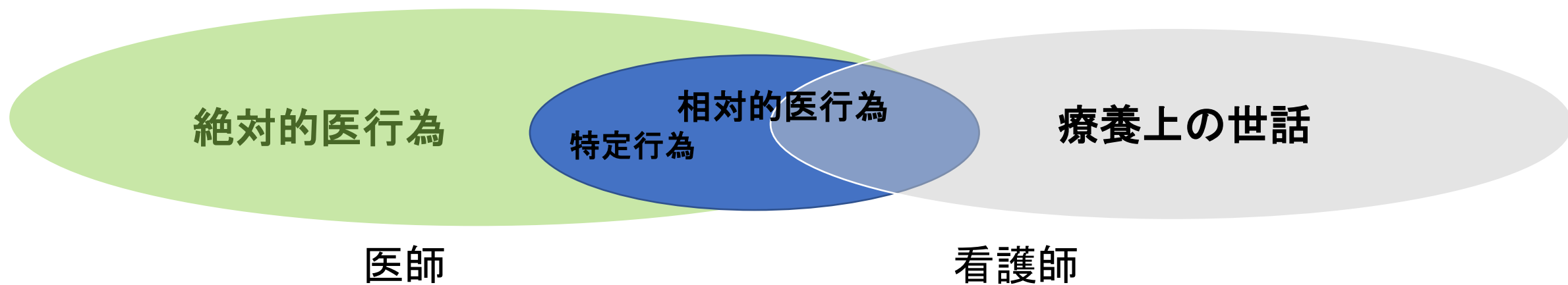
- 早期診断の援助
- 早期離床、医療器具の早期離脱
- 在院日数の短縮
- 早期回復



まとめ

特定行為研修修了者の活躍支援のために

- ・さらなる特定看護師の育成、活用のために、個人負担(時間・費用)を減らす
- ・取得行為を活かして特定看護師を適正に配置する
- ・特定行為が実践できる環境を整えるために、特定看護師活用の理解者を増やし、活動できる体制を整備する
- ・理解を広げるために特定行為の実践を可視化し伝える



ご清聴ありがとうございました



看護部紹介パンフレットでも特定看護師をアピール

特定行為研修は、厚生労働省による推進事業の枠内に設定されています。2025年問題に向け、さらなる在宅医療等の推進を図るため、医師の判断を待たずに一定の診療の補助を行う能力のある看護師を育てる狙いがあります。

キャリア形成としての「特定行為研修」
特定看護師のプレーヤー・管理者として活躍したい
患者さんが笑顔になれる関わりをしていきたい
どの職員からも「相談しやすい人」でありたい
一日も早い社会復帰できるよう支援していきたい

手術看護認定看護師 中山 龍二	皮膚・排泄ケア認定看護師 森永 美乃	感染管理認定看護師 戸塚 美愛子	集中ケア認定看護師 藤田 智和
--------------------	-----------------------	---------------------	--------------------

訪問看護から依頼を受け、脱水症状に対する輸液による補正や、手術中の輸液の管理を行っています。「自分の家族や自分事」として考え、エビデンスや倫理を大切にた看護を行っています。自分の行動は必ず成果につなげる看護師であり師長でありたいです。	辛い思いをしている患者に対して、タイムリーに特定行為を実践することが受講した理由でした。入院中の患者さんのみならず、地域で生活する中で褥瘡やストーマケアに困っている人たちのサポートを充実させていきたいと考えています。	活動している特定行為は、感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与、未梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入、中心静脈カテーテルの抜去です。“感染のリスク”から、患者さん、病院で働く職員みんな、自分自身を守りたいと思っています。	ICUに緊急入院した患者さんに、医師の指示のもとAライン挿入や挿管チューブの位置の確認などを行っています。特定行為研修で学んだことを活かし、看護師として患者さんが一日も早い社会復帰できるよう、支援していきたいと考えています。
---	--	---	--